

同窓会報

2011年(平成23年)10月1日発行
 [発行] 四日市大学 同窓会事務局
 〒512-8512 四日市市萱生町1200
 TEL&FAX 059-365-6791
 E-mail dousou@yokkaichi-u.ac.jp



暁学園創立65周年記念祝賀会

CONTENTS

- ご挨拶(会長 伊藤 清).....1
- 母校への寄贈.....1
- 同窓会ホームページ移転リニューアル.....1
- 第6回 ゴルフコンペ.....1
- 同窓会成績優秀者奨学金授与.....1
- 懐かしの先生は、今.....2
- 平成22年度同窓会総会報告.....2
- 総合政策学部 学部同窓会 開催.....3
- 卒業記念寄贈品についてのご報告.....3
- 活躍する同窓生.....4
- 大学祭へ行こう.....4
- クラブ近況報告.....4
- 就職活動状況.....5
- 四日市大学 平成24年度入試概要.....5
- 国際交流企画パネルディスカッション.....6
- コミュニティカレッジ開講10周年.....6
- 四日市大学 公開講座2011
- 同窓会掲示板

ご挨拶

四日市大学同窓会会長 伊藤 清

この度の東北地方太平洋沖地震により被災された皆様に対しまして、心からお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

並びに、台風12号で被害に遭われた 皆様に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

今年は、暁学園創立65周年を記念し、6月18日(土)四日市都ホテルで「学園創立65周年記念祝賀会」が開催されました。オープニングは暁高校吹奏楽部による「上を向いてあるこう」の演奏、そして出席いただいた皆様のお陰を持ちまして、盛大にまた充実した祝賀会となりました。大学同窓会の皆様にも多数のご出席を賜り誠にありがとうございました。

さて、母校四日市大学は今年で23年を迎えました。昭和63年に経済学部1学部での開学でしたが、現在では3学部。校舎も9号館まで擁する総合大学へと成長しております。これは、宗村学長をはじめ教職員の皆様のご尽力の賜ではないでしょうか。更に、その時代時代を大学の歴史として刻んできた7千人以上の同窓生皆様のお力の賜だと思っています。

母校、建学の精神である「人間たれ」(学校法



第1回 総合政策学部 学部同窓会集合写真



三重スリーアローズ 糸川 諒 投手



懐かしの先生は、今 David Dykes教授

四日市大学同窓会 設立20周年記念パーティーのご案内

同窓会が発足され20年が経過します。これを機に1期生から20期生まで一堂に会したパーティーを開催します。久しぶりに先生方や同級生と再会し近況報告や学生時代の思い出話に花を咲かせてみませんか?

四日市大学の卒業生であればどなたでも参加できる気楽なパーティーです。

是非、ご参加ください。

日時：2012年6月9日(土) 18:00~20:00

会場：四日市都ホテル

会費：5,000円

申し込み：メールでの受付

dousou@yokkaichi-u.ac.jp

FAXでの受付 (059) 365-6630

締め切り：2012年5月9日まで

問い合わせ：四日市大学同窓会事務局

(059) 365-6588 (鈴木・佐藤まで)

人(晩学園綱領)を基本とした「愛」ある心豊かな人間形成を目指した教育」また、基本理念「地域を考え、かつ国際的視野を持つて行動する人材育成」を基本とした教育を私たちは受けました。それは今でも私たちの中に色褪せることなくいつまでも残っていくものだと思います。そしてこれらを、後輩へと受け継いでいくことが、母校の更なる発展に繋がっていくのだと確信しています。

同窓会は来年2012年に設立20周年を迎えます。この節目の年に「同窓会設立20周年記念パーティー」を開催する予定です。

是非、ご賛同いただき、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

今後の母校の発展と会員の皆様のご健勝をお祈りしてご挨拶とさせていただきます。

母校への寄贈

四日市大学同窓会創立20周年記念事業の一つ、「食堂棟リニューアル計画（3カ年継続事業）」も今年で最後の年となりました。

これまで、2009年には床の張替え、2010年にはイスの入替えとロールカーテンの取付を行いました。これにより老朽化してきた食堂は一変、明るい清潔感のある場所へと変貌しています。

最後の年となる今年度は、もつとも要望の多かった食堂内のトイレ改修工事を行いました。

男子トイレの1個室と1小便器、女子トイレの2個室、衛生面を考慮した床の張替えと非接触型の手洗い器を6箇所設置いたしました。

私たち卒業生には馴染み深い食堂も老朽化に伴い利用者が減少していったところ、リニューアルしたことで学生の利用者が増えつつあります。また、四日市看護医療大学の女子学生も増え、「食事をするだけの場」からコミュニケーションエリアとして新しく生まれ変わりました。

同窓生の皆さまにもお近くにお寄りの際には、是非、足を運んでいただけたらと思います。



同窓会ホームページ移転リニューアル

新アドレス <http://www.yokkaichi-u.ac.jp/dosokai/>

四日市大学同窓会ホームページが、移転&リニューアルいたしました。

ホームページを活用し、同窓会員ネットワークのより一層の充実を図っていきたくと考えております。ご覧いただいたご意見・ご感想など、お気軽に事務局までお聞かせください。

主なコンテンツ

●「同窓会ニュース」「大学の様子」

トップページ掲載の「同窓会ニュース」「大学の様子」については、以前のホームページより更新頻度をあげ、より細やかな情報をご案内できるようにしております。

●同窓会報

同窓会報のページができました。過去の同窓会報がご覧いただけるようになりました。

●マスコミキャラクター、よんゾー君

会報や封筒などで頑張っている、同窓会のマスコミキャラクター、よんゾー君の紹介ページも出来ました！可愛がってくださいね。



第6回ゴルフコンペ

	OUT	ING	GROSS	HDCP	NET
優勝 加藤 寛裕	47	48	95	36.0	59.6
準優勝 佐々木周平	39	37	76	8.0	68.0
3位 小林 満次	51	57	108	37.0	71.0

今年度も、同窓会ゴルフコンペを養老カントリークラブにて平成23年8月15日に開催いたしました。今年はお盆の開催となり、暑さとの戦いにもなりました。また、ラウンド終了後の懇親会では参加者同士の交流を深めました。

参加者の声

- 江崎 裕 大変楽しくプレーできました。
- 小川くん 楽しく真剣にゴルフをしましょう。
- 梅ちゃん ゴルフはたしなみ。初の真夏の開催ということで暑さとの戦いでもありましたが各世代と会話をしながら一日過ごすことができ、見聞を広めることができました。
- 小林 満次 いつも楽しくまわらせてもらってます。来年はみなさんもぜひ!!
- 佐々木周平 良い汗かきました。
- 20KEY すばらしい一日になりました。

●真田 大資 年をおうごとに参加数が増えて賑やかになってきました。楽しかったです。

●松野 貴信 ヘトヘトのゴルフ、でも楽しいゴルフをさせてもらっています。未参加の人達も、ぜひ参加をお待ちしています。

●TAKEN 最近は進歩がないので次回は今日を上回るよう頑張ります。

水谷 康裕

大変楽しいコンペでした、また参加したいです。

村山 和久

初参加させていただきましたが、みなさんやさしく楽しい時間を過ごさせて頂きました。



平成23年度同窓会成績優秀者奨学金授与

今年度も、本会の事業のひとつである「同窓会成績優秀者奨学金」の授与式が、平成23年9月16日に行われました。これは、学業に優れた学生に対して、一層の研鑽に努め、経済的負担を軽減するため、平成15年度より始めたものです。

当日は、本会 佐藤副会長より、成績優秀者へ奨学金5万円が授与されました。

今回の表彰者は左記の5名です。

- 経済学部 橋本 庄平（経済学科）
 - 環境情報学部 西野 裕樹（環境情報学科）
 - 環境情報学部 田中 勝利（環境情報学科）
 - 総合政策学部 村田 麻衣（総合政策学科）
 - 総合政策学部 青 和幸（総合政策学科）
- 今後とも皆さんのご活躍を期待しています。



懐かしの先生は、今

在学中お世話になった先生からのメッセージ

経済学部経済学科教授 David Dykes (デイビッド・ダイクス)

When I started at Yokkaichi University in 1988, there was pioneer spirit in the air. The opening of a university in this chemical plant city was an attempt at image change. The words <文化の港> in the school song recall that.

I was attracted to the university because it offered equal working conditions. In those days non-Japanese teachers nearly always had lighter duties but took no part in decision making. Yokkaichi was different. Everyone had to be involved.

For English, there were only reading and conversation classes at first. For variety, we needed to add some other activities. Obliging, some students started a circle ('English Time') in which we ran chat times and produced a magazine.



On the university side, we ran summer study trips, and coached students for speech contests. These activities went defunct sometimes, but were always revived by people with fresh energy. Now, since 2006, we have an English Support Lounge, which runs events every month with a three-day cottage retreat every March.

I remember the early days as pioneer days. Now I notice more when existing things go defunct. But there is generally someone to start them up again, often better than before. That may be what Mr Noda the new prime minister meant with his 'dojo' image. Do you know the English expressions 'muck in' and 'get your hands dirty'? Perhaps for you, too, your pioneer days will turn out to be the ones when you were most busily mucking in. 泥鰯たれ!

1988年に私が四日市大学に就任したとき、新しい世界を切り開こうとする雰囲気がありました。四日市市という工業地帯に開学した本学は、市のイメージチェンジを図るものでもありました。学歌にある「文化の港」ということばは、そういったことを思い起こさせます。

四日市大学のすばらしい点のひとつは、外国人教員にも日本人教員と同等の勤務条件を提示したこと。当時の状況の大勢は、外国人教員に大きな義務も課さない代わりに決定権も与えませんでした。四日市大学は違っていました。全員が、ものごとの決定に関わっていたのです。

英語科目は開学当初は講読と会話の授業だけでしたが、必要に応じて英語能力を活用させる活動などを追加してきました。嬉しいことに、「イングリッシュタイム」という気軽な英会話の時間を始めた学生もおり、雑誌も作成しました。

大学として実施したのは夏季海外語学研修や、教員指導のもとでの学生英語スピーチコンテストです。これらの事業は継続の危機に面した時もありましたが、次々に現れる関係者たちの新しいエネルギーによって常に復活してきました。2006年以降は「イングリッシュサポート・ラウンジ」という施設を設置し、毎月英語に関する事業を行い、特に3月には3日間の英語合宿を実施しています。

私は、進取の気風にあふれていた時期を覚えています。今は、その頃ほどの活力は感じません。しかし、いつも必ず誰かが新しい何かを、以前よりも良い形で始めるのです。これはこのたび就任した野田首相のイメージである「泥鰯(どじょう)」に通じるものがあると思います。英語の表現に「muck in(みん)と一緒に、とにかく働く」とか「get your hands dirty(体を泥だらけにして働く)」というのがあるのを、存じでしょうか？皆が共に心を合わせて目的に向かってひたむきに働くことで、人は新たな道を切り開くことができるのではないかと思つています。泥鰯たれ!

平成22年度同窓会総会報告

平成22年度総会が平成22年10月24日に開催されました。以下の内容が審議され、可決されました。

◆平成22年度役員について

◆平成21年度事業報告

- ・同窓会会報の発行
- ・同窓会奨学金制度
- ・同窓会情報の発信
- ・同窓会名簿の管理
- ・愛知支部懇親会
- ・母校への協力事業
- ・同窓会奨学金制度
- ・同窓会情報の発信
- ・同窓会名簿の管理

◆平成21年度決算

平成21年度 四日市大学同窓会決算書

(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

収入の部		(単位:円)	
費目	決算	備考	
会費	3,210,000	214人分	
懇親会費収入	77,000	懇親会参加費	
雑収入	56,823	定期・普通預金利息	
前年度繰越金	43,134,260	平成20年度繰越金	
収入の部計	46,478,083		
支出の部			
費目	決算	備考	
消耗品費	38,384	宛名ラベル代他	
旅費交通費	7,560	愛知支部打合他	
通信運搬費	79,628	後納郵便代・事務局電話代	
会報発行費	1,124,385	会報発行費用(会報:総会案内・封筒・送料・保護シール等)	
会費	0	暁連合同窓会費199名分(99,500円)次年度支払	
図書費	0		
渉外費	67,005	会議費	
卒業記念品費	366,660	卒業記念(印鑑)	
母校協力事業費	3,430,230	母校協力費(食堂椅子・9号館コピー 学生スペース改装)	
HP管理費	55,650	維持管理費(外部サーバー使用)	
奨学費	250,000	50,000×5名	
支部運営費	365,060	愛知支部懇親会費用	
雑費	146,978	親睦会開催費用他	
次年度繰越金	40,546,543		
支出の部計	46,478,083		

◆平成22年度事業計画

- ・同窓会会報の発行
- ・同窓会奨学金制度
- ・同窓会情報の発信
- ・同窓会名簿の充実
- ・母校への協力事業

◆平成22年度予算

総合政策学部 学部同窓会 開催

私たち総合政策学部1期生は、先日2回目の自主同窓会を開催しました。

2001年4月に総合政策学部が四日市大学の3つ目の学部として創設され、私たち1期生が入学してからちょうど十年が経ちました。これまでも卒業後に仲間内で集まることはありましたが、それはせいぜい5、6人程度で同窓会と呼べるものではありませんでした。時間がたつにつれ私たちは皆の顔が懐かしく、皆と会いたいという思いが次第に強くなってきて、去年の秋、自分たちで総合政策学部の同窓会を開催しようと思いい立ちました。

学生当時からよく集まっていた仲間に声をかけたところ、皆快く同窓会の呼びかけに参加してくれました。総合政策学部は創設以来「まちづくり」を重視していましたが、学生時代からまちづくりの企画、活動等に参加し、今でも各地域の人たちと交流のあるメンバーがいてくれたおかげで、地域の人に教えていただいてお店もスムーズに決めることができました。

同窓会に参加する人を集めるときでも、幅広い学生と交流のあるメンバー、社会人学生と交流があるメンバー、先生方と交流のあるメンバーなどがいてくれたおかげで、多種多様なメンバーを集めることができ、とても楽しく企画を立てることができました。まるで数年ぶりに学生に戻ったかのように、学祭の出し物を決めているときのような感覚になりました。

記念すべき第1回目の同窓会は2月に行いました。当日、なんと雪が降りましたが、それでも多くの先生方、懐かしい顔ぶれの旧友たち、そして社会人学生の方々と多彩な顔ぶれが集まり、「第1回総合政策学部同窓会」が始まりました。実際始めてみると面白いもので、久しぶりに集まったにもかかわらず、そこには数年前の学生達の姿がありました。話の内容は、学生時代の話から、社会人になった話まで幅広く、社会人学生の方達とも話が進んでいるようで、とても楽しそうでした。また、参加いただいた先生方も「卒業した学生達の成長した姿を見ることで嬉しう嬉しい。」と言っていたとき、主催した私達、幹事一同とても嬉しく、主催した甲斐がありました。先生方から「今後もこのような活動を続けてほしい。」そして更に学生の輪、社会人学生の輪、

先生方の輪と絆を強めていくて欲しい。」という言葉をいただいたとき、第2回を開催する意欲が湧いてきました。

そして、「第2回総合政策学部同窓会」へと話が続きます。今回は2回目というこもあり、前回よりも更に輪を広げようとして、前回参加できなかった学生、社会人学生、先生方を中心に声をかけました。そして、開催時期も、2月は年度末が近く忙しい人が多いことともあり、2回目の今回は9月に開催することにしました。



第2回総合政策学部同窓会集合写真

そして第2回開催当日、何と今度は台風が上陸しました。しかし、そんな悪天候にもかかわらず1回目の前回はまた違った顔ぶれが多く参加していただき、また後輩の卒業生も多く、新たな輪、絆が広がったような気がしてとても嬉しく思いました。

今回は今回の同窓会を基に、更に私達の後輩である卒業生2期生やその後輩のメンバーも加えて今後も楽しく学生、社会人学生、先生方の輪、絆を広げ同窓会をやつていければと考えています。そして何より、今回この四日市大学同窓会報へこの記事を掲載させていただくことにより、更に今まで連絡の取れていなかった学生や社会人学生、そして先生方からの連絡などもこの会報を通じて連絡を取り合うことができるかも知れません。少しでも同窓会に参加したいという方が増えていただければ、こんなに嬉しいことはありません。

最後にこの四日市大学同窓会報にこの掲載を提案して下さった皆様に心より感謝します。

総合政策学部同窓会幹事メンバー 一同

(中川・小川・細江・稲垣・柳川)

〔本表紙に第1回目の集合写真を掲載しています。〕

平成22年度卒業生の皆さんへ 卒業記念寄贈品についてのご報告

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、大地震と津波により、未曾有の被害を東北・関東地方の太平洋沿岸にもたらしました。

幸いこの地方には大きな被害がなく、四日後の3月15日に予定していた本学の平成22年度学位授与式は無事に挙行することが出来ました。

被災地域では多くの大学、学校が卒業式や入学式を中止あるいは延期せざるを得ない状況となったことなど心が痛みます。

地震発生後、本学学生の被災状況を調査しましたが、2名の卒業生が交通障害などにより卒業式に出席できず、また数名の学生の実家において家財への被害などが発生していました。この内、総合政策学部の上原太郎君の卒業式については、後日特別措置として卒業式を実施し、学位記を無事に手渡すことが出来ました。(写真①)

卒業記念寄贈品について

さて例年卒業式において、卒業生から大学への卒業記念寄贈品が紹介されます。しかし、今回は大震災直後ということもあり、卒業記念の寄贈品に係わる予算



写真① 平成22年度卒業記念に設置した記念石碑



写真② ソフトテニス部の仲間にも囲まれた上原太郎君(中央、花束の学生)

相当額を大震災への募金等に使用してほしいと大学へ申し入れていただきました。これは卒業謝恩会実行委員会と大学との相談を経て実施されたものですが、大変大きな決定をしていただいたことに、大学から大きな感謝を申し上げたいと思います。

後日、四日市市役所を通じて日本赤十字社に50万円を寄付致しました。また、残額にて東日本大震災からの復興と卒業を記念する記念植樹と記念石碑の設置を行いました。(写真②)

植樹されたのは「常緑ヤマボウシ」と呼ばれる品種で、普通のヤマボウシが葉を落とすのに対して、これは一年を通じて葉を枯らすことのない品種とのこと。

また石碑の表面には卒業記念と復興への願いが、裏面には大震災と卒業式の日付がそれぞれ刻まれています。

いずれも大学バス停の南側にありますので、来学された折には是非ご覧ください。

【教学課 学生係】

活躍する同窓生

三重スリーアローズ

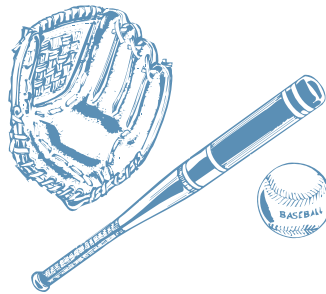
糸川 諒 投手

経済学部卒業



大学を卒業して4ヶ月が経過しようとしています。私は、大学を卒業と同時に三重県で唯一のプロ野球球団である「三重スリーアローズ」に投手として入団致しました。幼い頃から大学まで続けてきた野球とは異なり、『結果が全て』のプロ野球という世界に最初は戸惑いもありましたが、先日3勝目を挙げるなど、徐々に慣れてきたところ です。

今までお世話になった方々や応援してくださる方々への感謝の気持ちをもって精進していきますのでご声援いただきますようお願いいたします。



大学祭へ行こう 10月22日(土)・23日(日)

四日市大学と四日市看護医療大学の合同大学祭「よんよん祭」も3年目を迎えました。

今年度のテーマは「Human Link」今しかできないこと。人と人との輪。大学生の期間でしか出来ないことを考え、大学祭を創り上げていきます。また目的に「地域交流」を掲げ、誰もが盛況と感じられ、引いては四日市大学発の四日市市活性化に貢献できるような大学祭をめざしています。

地元早稲在のヒップホップグループ「nobodysknows+」のライブをはじめ、特設ステージでのパフォーマンス、本学の竹を使った子ども向け企画「ちびっ子よんよん祭」、スタジオ公開ライブ、大震災に関わる研究発表など、多彩なプログラムを用意しています。

看護医療大学との共催で、ますます盛り上がる「よんよん祭」。



クラブ近況報告

ゴルフ部の荒木彰崇君

全国大会出場

荒木彰崇(経済学部)君は、学生のみならず数多くのアマチュアが参加した中部地区の予選・決勝を勝ち抜き、見事、第45回全日本アマゴルフ選手権競技(全国大会)への出場を果たしました。ゴルフ部としても創部以来の大きな成果です。この大会は、アマチュアゴルファーにとってはトップアマへの登竜門であり、4月の予選、5月の地区決勝、そして最終戦となる6月の全日本大会へと熱戦が繰り返されます。全日本大会の上位2名には、日本ゴルフ協会主催の「日本アマチュアゴルフ選手権競技」への出場資格が与えられます。



ソフトテニス部

平成23年度 第65回文部科学大臣杯 全日本大学対抗ソフトテニス大会 ベスト16

8月5日から埼玉県川口市で開催された、第65回文部科学大臣杯全日本大学対抗ソフトテニス大会に出場しました。1回戦はシード権を得ていたため、2回戦から出場し信州大学に3-2で勝ち、3回戦は九州産業大とあたり、接戦の末、3-2で勝利しました。4回戦は、日本大学と対戦し、残念ながら0-3で惜敗し、昨年同様全国ベスト16となりました。



硬式野球部

春季三重県学生野球リーグ新人戦大会 優勝!!

6月4日・5日、三重大学野球場にて春季三重県リーグ新人戦が行われました。新人戦は1・2年生での大会であり、その結果、2試合連続コールド勝ちで、初めて優勝することが出来ました。

試合後、永戸野球部長にも報告を行い「今後も精進して欲しい」との激励をしていただきました。今回の結果をきっかけにリーグ戦で優勝を目指していきたいと思っております。



就職活動状況

四日市大学就職率：93・5%

（全国4年生大学の就職率の平均91・1%《厚生労働省資料より》）

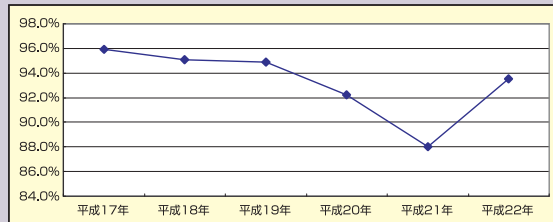
厚生労働省と文部科学省の調査により、今春の大学新卒者の全国就職率（5月24日現在）は91・1%（前年度比0・7ポイント減）と、調査を始めた平成8年以降「就職氷河期」といわれた平成12年と並び過去最低でした。東日本大震災の影響で岩手、宮城、福島のみならず、6大学分は未調査の為、暫定的な就職率の公表です。

一方、本学の学生は最後の最後まで粘り、最終の就職率は93・5%に達しました。現在の環境下においては、「よくぞ頑張ってくれた。」という感があります。採用をいただいた多くの企業には心より感謝するとともに、企業の皆様にご理解を得られたことは本学としても大変意義のあることではないでしょうか。

さて、現4年生の就職戦線において、震災の影響で採用を遅らせていた大手企業の求人活動も、はや終盤に差し掛かりつつあります。キャリアサポートセンターまで内定報告に訪れる学生が目立ってきた一方で、未だ進路が決まらず、焦りを募らせている学生もいます。企業側の求人状況は、相変わらず「厳選採用」を強化しており、無理に基準を下げてまで採用数の確保に走りません。今後も企業有利の「買い手市場」が継続されるというのが一般的な見方です。

平成22年度の主な就職先

アマカン株式会社・NTN株式会社・植田アルマイト工業株式会社・大阪シーリング印刷株式会社・三鈴工機株式会社・三陽化成株式会社・シグマ技研株式会社・松阪ハム株式会社・万協製菓株式会社・三菱樹脂株式会社・ヤマハ発動機株式会社・豊生ブレイキ工業株式会社・株式会社ジャパンマテリアル・株式会社トピア・株式会社半谷製作所・株式会社明菱・株式会社安永・三重銀コンピュータサービス株式会社・株式会社朝日新聞名古屋本社・株式会社アレクシード・株式会社CTY・一般社団法人日本貨物検査協会・杉栄開発株式会社・トランスシテイロジステイクス中部株式会社・丸一運輸株式会社・石井燃商株式会社・イワタニ三重株式会社・尾鷲物産株式会社・シーエス薬品株式会社・東海物産株式会社・マックスバリュ中部株式会社・マルエイ株式会社・アリコジャパン・鳥羽水族館・株式会社三重ベースボールサポート・株式会社国際文化交流協会・華聯学院京都校・西美濃農業協同組合・三重四日市農業協同組合・霞共同事業株式会社・三重総合警備保障株式会社・株式会社読売情報開発・防衛省陸上自衛隊 他



四日市大学 平成24年度入試概要

募集学科

経済学部 経済学科・経営学科
環境情報学部 環境情報学科
総合政策学部 総合政策学科

入試日程

推薦入試

推薦A日程 11月 5日(土) 一般推薦、自己推薦、クラブ推薦
推薦B日程 12月17日(土) 一般推薦、自己推薦、クラブ推薦
推薦C日程 3月14日(水) クラブ推薦

学力入試

学力A日程 2月 3日(金) 2科目入試
学力B日程 2月28日(火) 2科目入試
学力C日程 3月14日(水) 1科目入試

大学入試センター試験利用入試 ※個別試験は課さない

前期日程 出願期間：1月10日(火)～2月 3日(金)
中期日程 出願期間：2月10日(月)～2月27日(月)
後期日程 出願期間：3月 1日(木)～3月13日(火)

AO入試(随時型)・社会人入試

出願期間：平成24年3月22日(木)まで随時

■四日市大学入学試験特待生について

- 一般推薦、学力および大学入試センター試験利用入試で特待生(I種またはII種)を採用します。
- 特待生として採用された場合は、授業料等(授業料・教育充実費・教学費)の50%(I種)または30%(II種)を減免します。
- 入試の詳細につきましては、平成24年度入学試験要項でご確認ください。

学部	奨学金減免額		特待生定員
	I種	II種	
経済	435,000円	261,000円	30名 (I種、II種あわせて)
環境情報	482,500円	289,500円	
総合政策	482,500円	289,500円	

- なお、この奨学金は学内の他給付型奨学金制度と併用して受け取ることはできません。
- 特待生対象期間は原則として、在学4年間とし、2年次以降は別途定める成績優秀者奨学金制度に従うこととなります。

資料請求・お問い合わせ

四日市大学 入試広報室

〒512-8512 四日市市萱生町1200
TEL：059-365-6711 FAX：059-365-6630
E-mail：nyushi@yokkaichi-u.ac.jp

国際交流企画パネルディスカッション 「持続可能な多文化共生を考える」

本学教授陣が「多文化共生」についてパネルディスカッションを実施します。昨年度に続き2度目の開催です。多文化が混在する今日の社会において、一瞬の交流ではなく互いの文化を認め合うことの理想と現実と目を向け、何をめざすべきなのかを探ります。【一般公開・事前申込不要・無料】

●日時 平成23年10月23日(日) 10時～10時40分【受付9時50分】

●場所 四日市大学ADV教室

●コーディネーター 岩崎 恭典(総合政策学部教授)

●パネリスト 富田 与(経済学部教授)

(予定) 千葉 賢(環境情報学部教授)

小林慶太郎(総合政策学部准教授)

●主催 四日市大学 ●後援 四日市市

●お問い合わせ 四日市大学留学生支援センター

電話(059)365-6793



名誉教授の 称号を授与

四日市大学名誉教授の称号が、6月15日付で、植田栄一前教授(写真中央)に授与されました。渉外部長、初代環境情報学部長、情報学部長、情報センター館長を歴任され、長く大学運営に携わりました。



報 告

元四日市大学経済学部教授
四日市地域経済研究所長
川手 恒忠 氏(享年86歳)

平成23年2月16日逝去

川手恒忠教授の専門は経営戦略で、昭和63年の開学から本学経済学部教授に就任いただき、平成10年3月末のご退職まで「工業経済論」「産業史」「経営学演習」などの科目を担当され、学生の教育指導にあたりました。また四日市地域経済研究所所長として地域の発展のため尽力されました。先生は開学時から四日市市の活性化及び本学の運営に多大な貢献をされ、大学の基礎を作られたおひとりでした。ご冥福をお祈り申し上げます。



コミュニティカレッジ開講10周年

コミュニティカレッジは、おかげさまで開講10周年を迎えました。この間、たくさんの同窓生の方も受講され、資格取得やスキルアップにお役立ていただいております。これからも多くの方々のご受講、心よりお待ちしております。

▼2011年11・12月開講予定講座

★赤字は、2011年度新規開講の講座です

教養・健康	6種8講座	写真・絵画・三味線・話し方・お金・陶芸
英会話	14講座	入門～上級、子ども英会話
語学講座	5ヶ国語15講座	中国・フランス・スペイン・ドイツ・韓国
パソコン	6講座	入門～応用・デジカメ講座

◀2011年開講の資格講座

一方、資格講座は8年が経ち、仕事に必要な資格講座の受講生は非常に熱心で、有資格者が生まれ、在校生はもちろん、社会人も多く受講されています。資格講座は、秋の受験に向けて、毎年、3月募集となっております。来春も開講予定となっておりますので、ぜひ、お申込みください。

なお、同窓生の皆様には、受講料が2割引の特典があります。

講座名	日程	回数	受講料	テキスト代
簿記検定2級・3級対策講座	土曜昼間	66回	89,100円	17,000円
簿記検定2級対策講座(単体)	土曜昼間	51回	68,850円	11,000円
簿記検定3級対策講座(単体)	土曜昼間	15回	20,250円	6,000円

～2012年開講予定の講座～

2011年度は、簿記講座のみの開講でしたが、来年度は、宅地建物取引主任者資格講座、販売士検定試験2級講座、ファイナンシャル・プランニング技能検定3級講座、秘書検定準1級・2級対策講座などの実施を予定しております。

お問い合わせ先

四日市大学コミュニティカレッジ 〒512-8512 四日市市萱生町1200 TEL:059-365-6615 FAX:059-361-0770

E-mail : caeb@yokkaichi-u.ac.jp http://www.yokkaichi-u.ac.jp/caeb/

■営業時間 火曜～金曜・9:30～17:00、土曜・8:00～15:00 ■定休日 日・月曜日

『四日市大学 公開講座2011』

『東日本大震災から私たちが学ぶこと』

2011年3月11日は、私たちに忘れてはならない日になりました。巨大津波は、多くの生命を奪い、福島第一原子力発電所の事故は、広大なエリアを人が住めないほどに汚染しました。被災された方々には、心からお見舞い申し上げます。

さて、この大災害から、私たちは何を学び、将来に向けてどのような社会を構築していくべきなのでしょう。様々な研究分野を背景にもつ本学の教員とともに、あらためてこの震災について考えたいませんか。多くの方々への受講をお待ちしております。

四日市大学公開講座運営委員長 小林慶太郎(総合政策学部 准教授)

『災害ボランティアを通してみた東日本大震災』

開催日時 10月1日 14時～16時 (受付13時30分より)

会場 4階視聴覚室

講師 鬼頭浩文(総合政策学部 教授、四日市東日本大震災支援の会代表)

未曾有の大災害により行政機能そのものが被災し、自治体に求められる機能が麻痺しました。大震災直後の混乱も深刻なものでしたが、10日以上たつても食料や燃料が被災地に届かず、被災者は寒さと空腹でたいへんな生活を送っていました。4月に入つてようやく物資が届くようになり、全国からボランティアが被災地に入るようになり、復興に向けて少しずつ前に進むようになり、今。ここでは、実際に現地での5回のべ9日間わたつて学生とともにボランティア活動を行った経験を踏まえ、地域の防災や行政の危機管理について考えていきます。

『大震災を経験した日本の経済の行方』

開催日時 10月15日 14時～16時 (受付13時30分より)

会場 2階研修室6

講師 岩崎祐子(経済学部 教授)

震災を原因とする製品部材等のサプライチェーンが途切れ、生産が停滞しました。原発事故は深刻な電力不足を招き、あらゆる社会活動が制限される危機に立たされています。また、自粛ムードや風評被害の広がりによる消費への影響も無視できない状況にあります。ここでは、大震災から半年たち、電力不足の夏を過ぎた段階で、経済がどのような影響を受け、どのように復興に向かっているのか、考えていきます。

『福島第一原発事故と放射能汚染の影響』

開催日時 10月29日 14時～16時 (受付13時30分より)

会場 2階研修室6

講師 高橋正昭(環境情報学部 教授)

原発の事故により、多くの市町村民が避難する事態になりました。農業や漁業も放射能汚染によって大きな影響を受けました。放射性物質が大気中や海水に放出され、土壌や海水が広く深刻に汚染されたことが原因です。ここでは、福島第一原子力発電所の事故の概要や背景を解説し、放射能汚染の広がりによって、われわれの健康や生活がどのような影響を受けるのか、考えていきます。

● 場所

じばさん三重

● 定員 50名(各講座定員になり次第締切ります。)

● 受講料 無料

● 申込方法 左記の連絡先まで「お名前」「住所」「希望する講座」をご連絡ください。

TEL(059)36516000 FAX(059)36516630

E-mail: syomu@yokatchi-u.ac.jp

● 主催 四日市大学

● 後援 三重県教育委員会・四日市市・四日市市教育委員会・四日市市商工会議所

同窓会掲示板

バレーボールをしませんか?

MIE KAWAGOE
KAMEZAKI
VOLLEYBALL TEAM

毎週、同窓生や友人と男女混合バレーボールを楽しんでいます。年に数回、大会にも出場しています。

現在、メンバーを募集しています。初心者、経験者とも歓迎です。入部希望の方は下記まで、お問い合わせください。

- 活動場所：川越中学校
 - 活動時間：毎週土曜日 19:00～20:00
- 経済学部9期生 加藤
kamezaki.v@gmail.com
<http://www.cty-net.ne.jp/~kamezaki/>



名簿作成の不審電話・ダイレクトメールにご注意

最近、四日市大学や同窓会事務局の名前を騙って、住所や連絡先(電話番号)、お勤め先を聞きだす電話やダイレクトメールが増えています。これは、大学および同窓会事務局とはまったく関係がありませんので、くれぐれご注意ください。なお、住所が変更になったときは、同窓会事務局までお知らせください。

原稿募集

皆様の会報への参加企画として、サークルやゼミなどの「同窓会のお知らせ」や「結婚しました!」「お店をしているので是非きてください。」など近況の原稿を募集しております。また、ご意見やご希望などございましたらお寄せください。

編集後記

今年も無事に会報を発行できたこと、うれしく思っています。さて、来年は同窓会設立20周年記念号の発行を予定しています。いつもと違ったパワーアップした紙面企画を現在検討しています。皆さんからの提案・情報をお待ちしております。



同窓生便り

真田浩史君(1992年卒 経済学部1期生)



四日市大学ご卒業の皆様・お世話になった大学関係者の皆様こんにちは。

月日が経つのは本当に早いもので、卒業して20年経ちました。

現在は地元四日市で家業である(株)星光堂(印章・印刷業)で働いておりますが、卒業後もご縁ありまして四日市大学には訪れる機会がありますし、会社からも車で15分ぐらいの距離と非常に近いので四日市大学が今でも身近な存在であり続けております。

第1期生の私が四日市大学に入学したときは、まだ学校も必要最低限の設備といった感じでしたが、今現在と比較すると本当に驚くべき変容を遂げており、素晴らしい充実した施設のなかで過ごすことのできる今の学生達が羨ましくもあります。

今にして思えば、在学中は人生の充電期間であった私にとって「こんな素晴らしい施設だったら、もっと真剣に勉強して今とは違う素晴らしい人生になっていたんじゃないだろうか…」などと有り得ない妄想に駆り立てられます。

とはいえ、図書館はいつでも利用できるし、コミュニティカレッジで資格取得やスキルアップのための講座もあるので、積極的に活用していきたいと思っております。